

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	1	自転車の利用促進と利用者のマナーアップ	自転車は環境に負荷をかけず、健康づくりにも役立つ。自転車利用促進のために、安全な走行空間の確保とネットワークの形成や利用しやすい駐輪施設(場所)の充実等を内容とした「自転車利用環境整備基本計画」を早急に策定されたい。	自転車利用環境整備に関する調査を今年度から実施し、平成16年度までに自転車利用環境整備に関する基本的な考え方を取りまとめる予定である。	都市整備局
1	全市	2	自転車の利用促進と利用者のマナーアップ	広く市民に自転車利用への理解と協力を促すため、市自ら率先行動として職員に自転車通勤を奨励すると共に、今年度から実施した「公用自転車」の導入をさらに拡充し、庁外業務の短距離移動に活用すべきである。	職員の通勤時における自転車利用の推奨については、公共交通機関の利用と併せ、仙台市環境率先行動計画において位置づけており、今後も関係部局の連携のもとその誘導策等を検討してまいりたい。	環境局
1	全市	2	自転車の利用促進と利用者のマナーアップ	広く市民に自転車利用への理解と協力を促すため、市自ら率先行動として職員に自転車通勤を奨励すると共に、今年度から実施した「公用自転車」の導入をさらに拡充し、庁外業務の短距離移動に活用すべきである。	共用自転車については、今後の利用状況により、台数増も考えたい。また、本庁以外への拡大についても前向きに検討する。	財政局
1	全市	3	自転車の利用促進と利用者のマナーアップ	放置自転車等のリサイクル自転車を各駐輪場の一角に放置してレンタル活用する事業を展開されたい。	レンタサイクルは、放置自転車対策や自転車利用促進策として有効な手段と考えるが、需要の見通しや管理形態など課題もあることから早急な実現は難しい状況である。今後、他都市の事例なども参考としながら想定される課題への対応について研究していきたい。	都市整備局
1	全市	4	自転車の利用促進と利用者のマナーアップ	道路交通法の改正により罰則が強化されたが、二人乗り・無灯火等マナーが悪い。利用者のマナーアップ運動を展開すべきである。	広く市政だより等で広報啓発を実施するとともに、交通指導隊や交通安全指導員による街頭指導等を強化し、自転車利用のルールとマナーの徹底を図ってまいりたい。	市民局
1	全市	5	放置自転車対策	駐輪場の整備も必要ですが、放置自転車を減らす取り組み、また返還されない自転車の有効な再利用策を早急に検討すべき。	放置自転車対策は、行政・事業者・利用者がそれぞれの立場で放置防止に努めることが必要であることから、事業者に対しては、責任ある駐輪スペースの確保の働きかけと利用者に対しては適正な自転車利用促進の啓発を行っていく。また、返還されない自転車は、現在も一部をリサイクルしており、さらに、他都市の事例などを参考にしながらリサイクルの検討を行う。	建設局
1	全市	6	市民行政サービス評価制度の充実・促進	窓口サービスの対応について。評価採点による職員のモラルアップについては、これまでの当局の努力によって改善が図られているが、未だに一部に苦情が絶えない。更なる検討を重ね、市民に喜ばれる窓口となるよう、引き続き徹底を願う。	窓口サービスについては、市民アンケートにより課題を把握し、サービスの改善を図るとともに、接遇研修の実施やマニュアルの徹底などに努めているところであり、今後とも接遇の向上に向けた取り組みをより一層進めてまいりたい。	総務局
1	全市	7	暴走族対策	市民の安心と安全を促進するため、地域、学校をも含めた暴走族対策の推進を。	暴走族根絶市民大会開催等により市民の意識を高め、学校毎の暴走族加入阻止教室の開催、各区に配置された暴走族相談員の積極的な活用等により「加入させない」ことを重点として施策を展開するとともに、宮城県警に対して取締の強化を要請してまいりたい。	市民局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	8	防犯対策の強化	自転車、バイクの盗難や、ひったくり、痴漢などが増加傾向にあり、治安の悪化が危惧されており、一向に歯止めがかからない。地域住民との連携・協力による防犯対策の強化と安全な環境作りのための防犯灯設置の推進。試験的に非常ボタンのセットされた「スーパー防犯灯」設置も検討されたい。	仙台市安全なまちづくり市民懇談会等を通じて、効果的な防犯活動のあり方、そのために必要な行政と市民の相互連携についてご意見をいただき、可能なものは施策として取り組んでまいりたい。	市民局
1	全市	9	市民センター、コミセン設置基準の見直し	市内の高齢化率の急速な増加に伴い、「市民センターは中学校区、コミセンは小学校区」との従来の設置基準ではおさまらない地域が増えてきている。現状に即した設置基準の見直しを求める。	現在、未整備地区の解消に重点を置いて取り組んでいる。未整備地区の解消後は、市民活動も多様化していることから、施設の機能面について見直しを含めて検討してまいりたい。	市民局
1	全市	10	障害者施策の充実	障害者の在宅就労支援プロジェクトの実施。IT技術を活用した障害者の在宅就労支援事業として、障害者(テレワーカー)と、趣旨に賛同し仕事を発注する企業や自治体、NPO等で作るサポーターズクラブ、企業等から受注した仕事を障害者に配分し、品質・納期に責任を持つエージェントの三者から成る支援プロジェクトを早急に立ち上げ、実施されたい。	IT活用による就労のための講習を行うなど、在宅就労に結びつける仕組みづくりに引き続き取り組んでいきたい。	健康福祉局
1	全市	11	障害者施策の充実	精神障害者24時間対応の充実を求めます。	地域における生活支援の核となる「地域生活支援センター」の増設を行うとともに、精神科救急システムの整備を行い、精神障害者とその家族が24時間安心して地域で生活出来る支援体制の充実を図っていきたい。	健康福祉局
1	全市	12	青少年指導センターの拡充	青少年指導センターの名称を変えるべきである。例えば青少年総合相談・支援センターなど。	ここ数年の指導センターの業務内容は、指導的側面から相談的側面へシフトしている。このことから、業務内容にふさわしい名称変更について検討していきたい。	健康福祉局
1	全市	13	青少年指導センターの拡充	またその人的体制も民間のマンパワーの活用を含め、抜本的な充実・強化を図るべきである。	これまでもボランティアの活用や外部講師の導入などにも積極的に取り組んでいるところであり、今後も必要に応じ充実・強化を図っていきたい。	健康福祉局
1	全市	14	青少年指導センターの拡充	現在の場所から移転して、より広い、より充実した施設環境とすべきである。	平成14年度に国体準備室が利用していた部屋を譲り受け、施設は面積で30%拡大した。場所的には、街頭指導や相談者の利用便宜を考慮すると、現在の位置が適切であると考えている。	健康福祉局
1	全市	15	介護保険基盤整備の充実	H17年度に国の介護保険制度の見直しがあるが、本市としても基盤整備充実に向け、H16年度の予算措置を講じるよう、要望します。	平成15年3月に改定した仙台市高齢者保健福祉計画に基づき、施設整備の促進等基盤整備の充実を図るため予算措置を講じてまいりたい。	健康福祉局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	16	介護保険基盤整備の充実	介護保険弱者対策について。新設の特別養護老人ホームは、全て個室となっており、低所得者は、入所が困難である。全体がバランスよく入所できるよう、配慮してほしい。低所得者に対する対策の強化をはかられたい。	今後国庫補助の対象となる新設の特養は全室個室・ユニットケアの新型特養とする旨の方針が国から示されており、従来型特養の新設は困難である。なお、既存特養を改築する際の取扱いについては、現在国で検討を行っており、その動向を踏まえて対応を検討してまいりたい。また、低所得者の個室利用等に伴う経費については、負担軽減が行われているところであるが、今後とも、低所得者対策については、国に対し要望を行ってまいりたい。	健康福祉局
1	全市	17	高齢者福祉施設の充実	入所待機者の解消に向けて、特養施設の拡充、増設を。民間既存の施設・企業の社宅等を積極的に活用して、施設の不足を解消し、市民が安心して施設サービスを受けられるよう供給体制の緊急整備をはかられたい。	施設整備については、平成15年3月に改定した仙台市高齢者保健福祉計画に基づいて進めており、特養については前計画の2倍以上の整備を計画している。また、既存施設の利活用については、特養整備の公募の中で具体的な計画が提案されれば、他と同様に審査の対象としてまいりたい。	健康福祉局
1	全市	18	高齢者福祉施設の充実	同上の趣旨で、ショートステイの増設も引き続き推進する。なお、ショートステイは保護的な面が強過ぎ、入所者の体力の減退が目立つ。改善を検討されたい。	ショートステイの整備は特別養護老人ホームへの併設を基本として整備を進めており、従来は特養定員の20%をショートステイの定員としていたが、平成16年度整備分からはこの基準を40%に引上げて整備の促進を図ることとしている。なお、ショートステイにおける介護のあり方については、施設側と今後研究してまいりたい。	健康福祉局
1	全市	19	高齢者福祉施設の充実	温泉療法による秋保、作並等温泉資源の活用。 (1) 仙台市と社団法人民間活力開発機構の共催による、温泉フォーラムを開催し、温泉による健康づくりの推進と、温泉地の活性化をはかる。	温泉の新たな魅力づくりとそのPRを行うための方策の一つととらえ、開催状況や事業効果について過去の開催地から得た情報を分析し、また今後の開催に関する情報等を収集しながら、本市での開催の可能性について検討を進める。	経済局
1	全市	19	高齢者福祉施設の充実	温泉療法による秋保、作並等温泉資源の活用。 (1) 仙台市と社団法人民間活力開発機構の共催による、温泉フォーラムを開催し、温泉による健康づくりの推進と、温泉地の活性化をはかる。	温泉活用による健康づくりの有用性や仙台市内の温泉地については「杜の都のいきいき健康ネット」に掲載し、広く市民に広報しており、今後も継続してまいりたい。	健康福祉局
1	全市	20	高齢者福祉施設の充実	(2) 健康づくり・病気予防の点から高齢者への温泉入浴の推進。	他の健康づくりや介護予防施策事業との優先度等を勘案しながら検討していきたい。	健康福祉局
1	全市	21	高齢者福祉施設の充実	(3) 効果的な温泉活用法をアドバイスする温泉療法士の養成し、健康と観光の温泉資源のPRを。	「温泉療法士」や「温泉入浴指導員」の養成については、温泉組合等の取り組みを基本として、関係局とも連携しながら情報提供等に努めてまいりたい。	健康福祉局
1	全市	22	高齢者福祉施設の充実	(4) 国が新たに進めている「温泉利用プログラム型健康増進施設」に関連して新設される「温泉入浴指導員」の育成を積極的に支援する。		健康福祉局
1	全市	23	高齢者福祉施設の充実	介護自立の皆様の健康維持のために温泉を有効利用する。	地域の貴重な資源である温泉を活用した施策については他の健康づくり・介護予防施策との優先度を勘案しながら検討していきたい。	健康福祉局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	24	高齢者福祉施設の充実	介護保険の住宅改修サービス給付を受領委任払にすべき。現行制度は保険給付(9割)分が償還払である。これを受領委任払方式に変えて利用者の一時払の負担を軽くすると共に、事業者のサービスの質の確保を図りたい。	介護保険制度等に関する研修を受講した事業者を掲載した「住宅改修事業者リスト」を作成し、掲載事業者のうち受領委任払いを希望する事業者に対して、平成15年度から受領委任払いを実施しているところである。今後とも、研修やリストの改訂等を行い、事業者のサービスの質の確保を図ることとしたい。	健康福祉局
1	全市	25	高齢者福祉施設の充実	「ふれあいコールサービス事業」の早期実施。	高齢者の安否確認等については、緊急通報システムや小地域福祉ネットワーク活動等により行っており、現行事業の工夫・充実を図るとともに、「ふれあいコールサービス事業」についても検討を行ってまいりたい。	健康福祉局
1	全市	26	高齢者福祉施設の充実	市政だよりの文字を大きくしていただきたい。とくに「お知らせ」の表記については、高齢者が一番注目するところでもあり、「表中の文字が特に小さくて読めない」との声が多い。県政だよりの新聞の文字を参考にされたい。	現在「お知らせ」のページは、多くの情報が掲載できるような他のページより小さい文字を使用しているが、高齢の方なども見やすいように、できるだけ大きな文字が使用できるよう工夫してまいりたい。	総務局
1	全市	27	高齢者福祉施設の充実	市営住宅内にグループホーム、または、好日庵や集会場のような高齢者の居場所づくりを推進する。	市営住宅の近隣地域におけるグループホームや好日庵の整備状況を勘案しながら、高齢者の居場所づくりを検討していきたい。	健康福祉局
1	全市	28	不妊治療への助成	国として新年度から年5万円助成することが実施の方向で検討されていますが、本市としても速やかに実現することをお願いします。	国では、少子化対策の一環として配偶者間の不妊治療に助成制度を設けることが検討されており、これを受けて本市においても対応していきたい。	健康福祉局
1	全市	29	待機児童ゼロへの取り組み	仙台市独自の待機児童の考え方を明確にする。	本市の待機児童の考え方については、平成15年4月より、「認可保育所に入所を希望している入所できない児童のうち、せんだい保育室に入室している児童を除くもの」としているが、今後待機児童の実態について調査のうえ、検討していきたい。	健康福祉局
1	全市	30	待機児童ゼロへの取り組み	「せんだい保育室」の経営安定化を図るため、B型への移行希望の家庭保育室に対し、現行の運営実態に合わせ、補助水準を引き上げる。	「せんだい保育室B型」における助成については、今年度新たに家賃助成や常勤有資格者助成を新設するなど、その改善に努めてきたところであり、今後の見直しについては、認定施設の運営状況や収入実績を見た上で、総合的に判断してまいりたい。	健康福祉局
1	全市	31	待機児童ゼロへの取り組み	「せんだい保育室」B型の設置基準に満たない家庭保育室への設備補助の新設。	「せんだい保育室B型」における助成については、今年度新たに家賃助成や常勤有資格者助成を新設するなど、その改善に努めてきたところであり、今後の見直しについては、認定施設の運営状況や収入実績を見た上で、総合的に判断してまいりたい。	健康福祉局
1	全市	32	乳幼児医療費の所得制限の緩和	所得制限の考え方を児童手当並みに改めるべき。	乳幼児医療費助成は県の補助制度であり、所得制限は宮城県県の基準に則っているが、この基準のあり方についての検討を今後も県に働きかけてまいりたい。	健康福祉局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	33	児童館整備の推進	全小学区への早期実現のため、学校施設の有効活用によるマイスクール児童館事業の推進。	児童館の設置については、小学校への合築や敷地内の活用を基本に整備を進めているところであり、マイスクール児童館の設置については、学校改築計画や余裕教室の状況をみながら、検討していきたい。	健康福祉局
1	全市	34	公園整備の維持・管理の充実	子どもと高齢者が安心して憩える公園を目指して整備・点検を徹底すべきである。	国土交通省の安全基準に基づき、本市の管理マニュアルを作成し、点検を実施している。	建設局
1	全市	35	公園整備の維持・管理の充実	ペットを排除するのではなく、ペットと共に楽しめる公園の整備を促進すること。	安全・衛生面で問題が生じないよう、利用者と飼主の理解が必要であり、今後も研究していく。	建設局
1	全市	36	(仮称)杜の都仙台グリーン会議の設立	仙台市の身近な自然に目を向け、自然を守り育てる市民参加の会議を開催すべきだ(恒常的)。	市民協働で緑化活動等を展開するため、市民や事業者との意見交換会やテーマ毎の市民活動について話し合う、「百年の杜づくりフォーラム」を実施してきたところであり、今後も継続していく。	建設局
1	全市	37	分別回収の拡充	飛散防止対策の一環として休日収集の実施を。	平成14年4月からのプラスチック製容器包装の分別収集の実施にあたり、希望する町内会等に飛散防止用ネットを無償で配付し、平成15年4月からは祝休日も収集することとした。	環境局
1	全市	38	路面凍結防止対策	青葉区霊屋下から太白区向山に通じる「鹿落坂」など、除雪・融雪されるバス通りでも、すぐに凍結してしまう部分に対して、路面凍結への防止対策を積極的に講じていくべきである。	主要な幹線道路やバス路線などを対象に、安全面に配慮しながら早め早めの対策を行なっているところである。鹿落坂については、現在地下埋設工事を行っており、この工事の進捗に合わせながら凍結抑制舗装の実施を計画している。	建設局
1	全市	39	県道仙台山寺線の万華鏡美術館から県道愛子線交差点までの歩道整備	観光客や地域住民の安全のため、早期実現を願う。	県道仙台山寺線の万華鏡美術館から県道秋保温泉愛子線の交差点までについては、平成15年度より測量・設計を進めており、今後とも事業推進に努めていく。	建設局
1	全市	40	国道45号線、苦竹付近の道路の拡幅事業を促進すること	国道45号線、坂下交差点から苦竹自衛隊前までの間は、道路幅が狭い上、歩道も狭い状態にある。一部は拡幅されているが苦竹周辺は遅々として進んでいない。早急に拡幅するよう要望する。 また、現在設置されている歩道橋の存廃を検討されたい。	国土交通省では、今年度から一部用地買収が可能となったことから、買収後に工事を行い、事業の進捗を図ることとしており、仙台市としても引き続き拡幅工事の早期完了に向けて働きかけて行く。	建設局
1	全市	41	秋保「らいらい峡」の整備	観光資源として名勝の地「らいらい峡」を整備と駐車場の確保。	磊磊峡については、現在のルートの再整備を進めると共に、里センターの施設(トイレ・駐車場等)の活用を含めて検討してまいりたい。	経済局
1	全市	42	秋保「工芸の里」の補修整備、あずまや設置	「工芸の里」の中の歩道、ベンチなどが老朽化している。樹木など点検整備を望む。	歩道・ベンチについては、安全性を第一に、順次、整備してまいりたい。樹木は、今年度点検し、来年度、樹木の整備を進めてまいりたい。	経済局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	43	公的施設に県内産木材の積極的使用を	木材の持つ柔らかさ、やさしさは健康や癒しの面で大きな効果がある。学校はもとより高齢者、障害者、子どもの施設をはじめ広く公的施設に木材の積極的使用をはかるべきである。また県内産木材の使用推進により、県内林業への支援をはかるべきである。	県内産木材の積極的使用については、市町村・森林組合・木材組合等で構成する林業活性化センターにおいて、利用の促進を図るための諸事業を実施している。また、公的施設での使用についても関係部局と協議してまいりたい。	経済局
1	全市	44	仙山線、中江～北仙台間の高架化の推進	仙山線、中江～北仙台間には、6ヶ所の踏切があり、いずれも交通量が多く渋滞がひどい状況にある。市民生活・産業活動そして環境負荷など問題が多くある。基本計画にも記載されている問題でもあり、調査研究を継続して行うことを要望する。	J R仙山線中江～北仙台間については、鉄道高架による立体交差化に向け、今後とも長期的視点に立ち検討を行って参りたい。	建設局
1	全市	45	仙山線、中江～北仙台間の高架化の推進	その後、公共交通機関利用促進の観点から、車両編成を半減させて、コスト削減を図りながら、地下鉄並みの間隔で終日に渡るダイヤの充実を図る。	地下鉄並みの間隔でのダイヤ編成について、J Rに確認したところ現在の単線では無理であるとのことである。	都市整備局
1	全市	46	分譲マンション対策	今後予想される大地震に備え、耐震診断助成制度の早期実現。	防災の意識向上を図ることから、耐震診断助成を今年度から開始した。	都市整備局
1	全市	47	分譲マンション対策	共用部分修繕に対する助成制度の創設。	国土交通省に対して共用部分修繕に対する助成制度の充実を引き続き要望しているところであり、その補助制度の動向を見ながら対応を考えてまいりたい。	都市整備局
1	全市	48	再来が予想される宮城県沖地震対策	民間建築物への耐震改修助成制度の実現。	来年度における耐震改修助成制度の創設について、検討しているところである。	都市整備局
1	全市	49	再来が予想される宮城県沖地震対策	災害弱者対策に万全を期すべき。	訪問防火指導により、自力避難が困難な高齢者等の災害弱者に対し、居住する建物の安全確認、家具類の転倒・落下防止対策の促進、安全な避難路の確保などの安全対策を推進してまいりたい。	消防局
1	全市	50	再来が予想される宮城県沖地震対策	市本庁舎の建て替えを検討すること。耐震上、問題のある現庁舎は、万に備えた場合の課題があり過ぎる。真剣に建て替えを検討すべきである。	老朽化等に伴う改築等も考慮し、現在検討委員会において今後の方向性について検討中だが、この検討結果を踏まえ、今年度中には改築か改修かの方向性を明確にする。	財政局
1	全市	51	再来が予想される宮城県沖地震対策	市立病院の耐震改修。市民の健康・生命を守るための中心的な医療機関にもかかわらず、地震対策が遅れていることは大問題である。早急に、移転・建て替えを検討すべきである。	市の地域防災計画との整合性を図りながら、災害拠点病院としての機能を確保できるよう、早急に耐震対策に取り組むとともに、耐震上の諸課題を検討する中で、移転・建て替えを含めた今後の市立病院のあり方を検討してまいりたい。	市立病院
1	全市	52	再来が予想される宮城県沖地震対策	公共施設の耐震改修。避難所に指定されている学校の体育館の耐震改修を急ぎ行うよう強く要望する。	市有建築物耐震化検討委員会最終報告書を基本に、計画的な耐震補強等の取組みを進めてまいりたい。	消防局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	52	再来が予想される宮城県沖地震対策	公共施設の耐震改修。避難所に指定されている学校の体育館の耐震改修を急ぎ行うよう強く要望する。	学校体育館については、耐震診断を行った上で、優先度の高いものから、できるだけ早く計画的に実施してまいりたい。	教育局
1	全市	53	再来が予想される宮城県沖地震対策	コミュニティ防災センターに、災害時等用として、簡易トイレの配備をすべきである。	保管スペース等の問題もあり、困難であるが、大規模災害時のトイレ対策について今後関係部局と対応策について検討してまいりたい。なお、指定避難所の市立の小学校・中学校・高等学校については災害時用簡易トイレを配置している。	消防局 環境局
1	全市	54	再来が予想される宮城県沖地震対策	身の回りの耐震化充実のため、家具固定などの広報徹底と助成推進。防災グッズの常備を推進すること。	家具類の固定や非常持出品など、個人、家庭での地震への備えについては、チラシやホームページでの呼びかけや各種メディアを活用した広報の他、研修会、防災訓練などのあらゆる機会を捉え、引き続き働きかけを強化してまいりたい。	消防局
1	全市	55	再来が予想される宮城県沖地震対策	指定避難所への自家発電装置の配備。	自家発電装置のエンジン始動点検業務が定期的に必要なとなり、保管スペース等の問題もある。なお、コミュニティ防災センターには、1箇所につき3式の投光機付発電機が装備されている。	消防局
1	全市	56	地下鉄東西線事業の推進	二酸化炭素排出による地球温暖化現象の抑制、また、「アクセス30分構想」実現の為、環境負荷の少ない鉄軌道軸は不可欠であり、早期の実現を要望します。	東西線の整備は、アクセス30分構想を実現し、本市の交通環境を大きく改善する上で不可欠であり、また、排気ガスの削減や地球温暖化の抑制などにも大きく寄与する重要プロジェクトである。鉄道事業法に基づく許可を平成15年9月18日に取得しており、早期着工、早期開業に向けて、工事施行認可等の手続きを着実に進めてまいりたい。	交通局
1	全市	57	地下鉄東西線事業の推進	東西線沿線の街づくりについては、地域住民と十分な意見交換、協議を行ない、住民合意の沿線街づくりを推進すること。	東西線沿線の街づくりについては、地域住民にまちづくりを働きかけ、ワークショップや勉強会の開催等により、意見交換や協議を重ねながら、住民と協働で推進してまいりたい。	都市整備局
1	全市	58	公共交通の案内表示	地下鉄ホームや駅構内に、駅周辺建物の案内を設置	駅周辺案内図や地上への出口案内パネル等に公共施設やランドマークとなりうる建物等を掲示しているほか、改札口付近に地図広告を設置して駅周辺の商業施設等の位置を表示するなどしているが、今後もわかりやすい案内表示に努めてまいりたい。	交通局
1	全市	59	公共交通の案内表示	地下鉄駅への誘導案内表示	適切な誘導案内表示の方法等について、関係機関と協議を進めてまいりたい。	交通局
1	全市	60	鶴ヶ谷市営住宅の建替事業の早期推進	建替事業推進のため、募集停止している影響で、入居倍率が上がっております。早期の建替事業の推進を図ってほしい。	鶴ヶ谷第一団地(二丁目)では、改築に伴う仮移転先の確保等の課題を整理しながら、基本構想の策定を進めている。	都市整備局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	61	民間住宅の市営住宅への借り上げ	鶴ヶ谷市営住宅の建て替えに伴い、募集戸数が減少し、入居倍率が上がっております。民間アパート等借り上げを、早期に推進していくべきである。	民間アパートを市営住宅として借り上げることについては、バリアフリー化等を定めた公営住宅整備基準を満たす必要があるなど解決すべき課題があるので、制度の導入について引き続き検討を進めていきたい。	都市整備局
1	全市	62	校庭芝生化と更なる開放	砂塵防止効果とともに、教育現場の緑化を教育再生のシンボルとすべきである。また、住民が学校に関心を持つきっかけになりうるので、校庭の開放を促進すべきである。子どもたちが放課後、安心して遊び、すごせる場の確保のためにも一層の開放をすべきである。	校庭の芝生化は、校庭外周部の一部で実施した学校の芝の痛み具合から課題も見えてきており、先進地の例も参考としながら、総合的に問題点を整理し検討しているところである。 また、昨年度から自由活動開放を毎週土曜日に拡大したところであるが、子どもたちの遊び場確保及び社会体育の普及の観点から、引き続き校庭と体育館の開放に積極的に取り組んでまいりたい。	教育局
1	全市	63	単位制高校の創設	調査費も計上されたが、具体化に向け、早期実現に向け、更なる努力を図るべきである。	仙台図南萩陵高校について、来年度より単位制に移行することとしている。	教育局
1	全市	64	授業評価システムの導入と課外授業の積極的活用	授業を楽しく、効果を高めるために。	授業改善のための手法については、昨年度実践事例集を作成し、各学校に配布したところである。 また、課外授業については、社会教育施設等を活用して、様々な取り組みを行っているが、今後も積極的に取り組んでまいりたい。	教育局
1	全市	65	学校図書室の充実	子どもの読書環境整備のため、全校への司書教諭の配置を願う。	基準となる12学級以上の学校に加え、11学級以下においても有資格者がいる場合は司書教諭を配置しているところであり、今後とも資格所有者の拡大を図ってまいりたい。	教育局
1	全市	66	学校図書室の充実	地域への開放を推進するため、学校図書室を積極的に校舎の1階に移動し、また図書室内容の更なる充実を図る。	今年度は15校の小学校において、学校・地域の実情に合わせて開放を行っている。 昨年度は「学校図書館運営に関する手引き」を作成し配布したが、現在開放している学校の課題等も検証しながら、引き続き図書館の充実・開放に取り組んでまいりたい。	教育局
1	全市	67	CAPプログラムの実施	子どもの権利を教え、暴力から自分を守るために、各校での取り組みの推進。	CAPも含め関係機関の協力を得て子ども自身が自ら危険を察知し、身を守るための取り組みを行うよう、今後も各学校に働きかけてまいりたい。	教育局
1	全市	68	救急車の現場滞留時間の短縮	現場にかけつけた救急車が、搬送先の医療機関とコンタクトを取り、その受入れの意思を確認してから出発するまでの時間を精査し、レアケースについての徹底した原因分析を行い、できる限り滞留時間を短縮すべきである。	救急患者の症状に応じた医療機関を選定し、救急患者の早期収容に努めているところであるが、レアケースについては救急隊活動に関する事後の検証を行い、救急現場での滞留時間の短縮に努めてまいりたい。	消防局
1	全市	69	自動体外式除細動器の導入	救命率向上のため、法改正に即応させる観点から、公共施設、とくにスポーツ施設への導入と適正配備。	自動体外式除細動器の導入については、厚生労働省の具体化に関する検討結果などを踏まえながら、今後、その導入手法等について、関係部局と協議を進めてまいりたい。	消防局

平成16年度予算に係る要望(公明党・全市)

整理番号	区分	No.	要望事項	要望内容	回答	担当局
1	全市	70	女性専門外来の設置	更年期や思春期相談など女性特有の症状に的確に対応するため、市立病院へ女性専門外来の設置を望む。	女性専用外来の果たす役割は、今後、ますます重要なものになってくると認識しており、担当する女性医師の確保など難しい問題もあるが、どのような具体の取り組みができるのか検討してまいりたい。	市立病院
1	全市	71	前立腺がん検診の実施	市民の健康を守るために、前立腺検診の実施を実現してほしい。	16年度から実施する予定である。	健康福祉局
1	全市	72	観光産業振興策として	仙台駅や観光主要ポイントに観光バス用バスプールの整備。	川内地区に暫定的に観光バスの駐車場を確保しているが、将来的な対応についても検討していく。	経済局
1	全市	73	観光産業振興策として	仙台駅新幹線ホーム北側に「(仮称)アエル方面口」自動改札口設置の要請を。(市役所・県庁等までの歩行による導線促進と、商店街への誘客策として)	誘客策の一つとしては有効であると考えているが、改札口の設置から維持管理まで全額地元負担であれば設置の可能性がないことはないが、JRが自ら改札口を新設する計画はないとのことであり、現段階では困難である。	経済局 都市整備局
1	全市	74	観光産業振興策として	仙台駅東口自動改札口設置の要請を。(の導線を促進するため)	誘客策の一つとしては有効であると考えているが、改札口の設置から維持管理まで全額地元負担であれば設置の可能性がないことはないが、JRが自ら改札口を新設する計画はないとのことであり、現段階では困難である。	経済局 都市整備局
1	全市	75	観光産業振興策として	仙台駅周辺に、一目でわかる「お勧めスポット」と「公共施設」の標示	「お勧めスポット」・「公共施設」は市内に数多く存在し、効果的な標示が難しいので、観光案内業務の強化やパンフレットの改訂により分かりやすさを向上させてまいりたい。	経済局
1	全市	76	長町副都心土地区画整理事業の促進及び対象地域課題の具体化	長町副都心土地区画整理事業の土地利用に関する、郡山・八本松地区の防災対応	当地区の土地利用については、広場や公園などの公共施設も含め、今後、防災機能を考慮しながら計画の具体化を進めていく予定である。	都市整備局